

# 学校支援会報

■令和3年7月31日発行 第4号 ■編集 学校支援地域本部事業 一関市学校支援事業室根地域支部 事務局

## 室中太鼓 伝統を継承

室根中学校では、本年度も「室中太鼓」の活動への取り組みが始まりました。



基本から丁寧に指導する奥野さん

6月28日、対象となる2・3年生から26名の希望者が集まり、指導を依頼している奥野幸市さんをお迎えし、初稽古が行われました。この日は、約1時間半の練習の中で、楽譜の見方、バチの持ち方、構え方など基本的なことをご指導いただきました。

「先輩たちがカッコいい姿を見せてくれたから、伝統を受け継いで叩いてみたい。」と、初参加ながらやぐら太鼓に挑戦する2年生の生徒は、「想像以上に難しい。」、小太鼓を担当する初参加の3年生の生徒

は、「むろね音楽会で演奏を見て、カッコいい、自分もやってみたいと思った。」、中太鼓を担当する3年生の生徒は、「子供会などでも太鼓をやっていたので、中学校でもやってみようと思った。大変だけれど、楽しい。」と、それぞれ参加した理由や感想を話してくれました。大太鼓を担当するリーダーの3年生の生徒は、「はじめて参加した人たちにはしっかり覚えてもらって、本番は成功させたいです!」と意気込みを話してくれました。

演奏披露イベントは、全3回。練習回数は、11月まで全15回。

奥野さん、最後までご指導よろしくお願いたします。



熱心なご指導



全員集中

## 夜空に輝く！ 打ち上げ花火

7月14日、ボランティアのみなさんにご協力をいただき、壁面装飾を行いました。

「夏」をイメージした装飾のメインは、色とりどりの折り紙を放射線状に細く切り、ラミネートをかけて光沢出した、夜空に輝く打ち上げ花火。ベンチに座って花火を見上げる浴衣姿の動物たちには、土台をつけて奥行きを持たせました。

お忙しい中、ご協力いただいたボランティアのみなさん、本当にありがとうございました。



「夜空に輝く！ 打ち上げ花火」

## みんなで楽しくピーマン収穫



収穫させていただくビニールハウス



「1本の木から4個穫ってください!」

春に植えた苗は、子供たちの肩の高さほどの立派な木に成長し、かわいい花と見事な実をつけていました。

室根東小学校で6月25日、2年生14名が、ボランティアの千葉寿男さん・千代子さんご夫妻のビニールハウスで、ピーマンの収穫体験を行いました。



見本のピーマンを1個ずつ



大きいよ!



見て見て!

子供たちは、見本のピーマンと大きさを見比べながら、自分の名前が表示されたピーマンの木3本から4個ずつ収穫し、見本と収穫したピーマンは、お土産にいただきました。

子供たちに、苗植えや収穫などピーマンの栽培過程を楽しく体験させてくださる千葉さんご夫妻。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

## 願いが叶いますように!

室根東小学校で7月上旬から中旬にかけて、展示コーナー、1階ワークスペース、昇降口の3か所に七夕を彩る笹飾りが登場しました。竹は、3本とも、菅原輝一さんのお宅からいただきました。

展示コーナーの竹は、ボランティアの小山純子さんが手作りしたたくさんの飾りを大きさや形、配色などのバランスを考えながら配置しました。6月に、窓辺につるした雫の切り絵もそのままに、華やかであざやかな装飾に仕上がりました。

七夕朝会を前に、1・2年生が1階ワークスペースの竹に、3・4年生が昇降口の竹に飾りや短冊をつるし、5・6年生が展示コーナーの竹に短冊をつるしました。子供たちの願いが書かれた、学年ごとに色分けされた短冊は、笹飾りに彩りを添え、風が吹くたびにやさしくゆらゆらと揺れています。

竹を提供してくださった菅原さん、飾りを作り、飾りつけもしてくださった小山さん、お忙しい中、ご協力いただき、本当にありがとうございました。



展示コーナー



5・6年生の短冊が加わりました



昇降口3・4年生



ワークスペース1・2年生